

鳴浜小における国際交流25年の歩み



山武市立鳴浜小学校PTA

目次

- 1 はじめに
- 2 鳴浜小学校における国際交流
- 3 韓国半月初等学校について
- 4 25年の歩み
- 5 国際交流の意義
- 6 PTAの役割
- 7 これからの交流について



1 はじめに

(1) 周りの環境について

- ・山武市は、2006年に成東町・山武町・松尾町・蓮沼村が合併して誕生した。
- ・山武市は、人口約5万2千人。近年、人口は減少している。
- ・本校は、旧成東町にあり、山武市の南部に位置している。
- ・学区は細長く、本校は学区のほぼ中央にある。
- ・田園地帯が広がるが、保護者の職業は自営業と会社員が多い。

(2) 鳴浜小学校の概要

- ・児童数は、145名。
- ・学級数は8クラス(特別支援学級2クラスを含む)。
- ・全学年単学級で、クラス替えもなく、アットホームな雰囲気。
- ・PTA会員数(家庭数)は、116名。



(3) PTA活動の概要

- ・PTA会員は、在籍する保護者。
- ・PTA役員(会長、副会長、書記、会計、庶務、監事、顧問)
- ・学年委員(各学年4名)、地区委員(各地区1名、計13名)
- ・バザーともちつき集会は、協力委員(各学年2名ずつ)
- ・家庭教育学級の企画立案と運営、PTA広報の発行
- ・奉仕作業、資源回収、ベルマーク収集、パトロール、登校時の旗振り
- ・体育行事への応援 etc.



2 鳴浜小学校における国際交流（概要）

（１）目的

1991年2月28日、姉妹結縁の内容に基づき、広く人材育成教育に寄与する。

鳴浜小学校と半月初等学校の子どもたちや学校関係者の以下の交流を通し、お互いの文化や習慣を尊重し理解することにより、恒久の平和を願い、ともに発展しようとする国際人の育成を図る。

- ①韓国訪問団による日本訪問
- ②日本訪問団による韓国訪問
- ③児童作品交流

（２）内容

児童交流、作品交流の他、学校間の協議会、P T A間の交流、国際交流事業の中心として本事業を支えてきた交流協会（日本）と運営委員会（韓国）との交流がある。

経費については、参加者負担および市補助金とP T A交流基金の補助がある。

3 韓国半月初等学校について

(1) 安山市について

大韓民国の京畿道の西部に位置する。

首都ソウルの南にある。

人口は、759、900人（2011年）

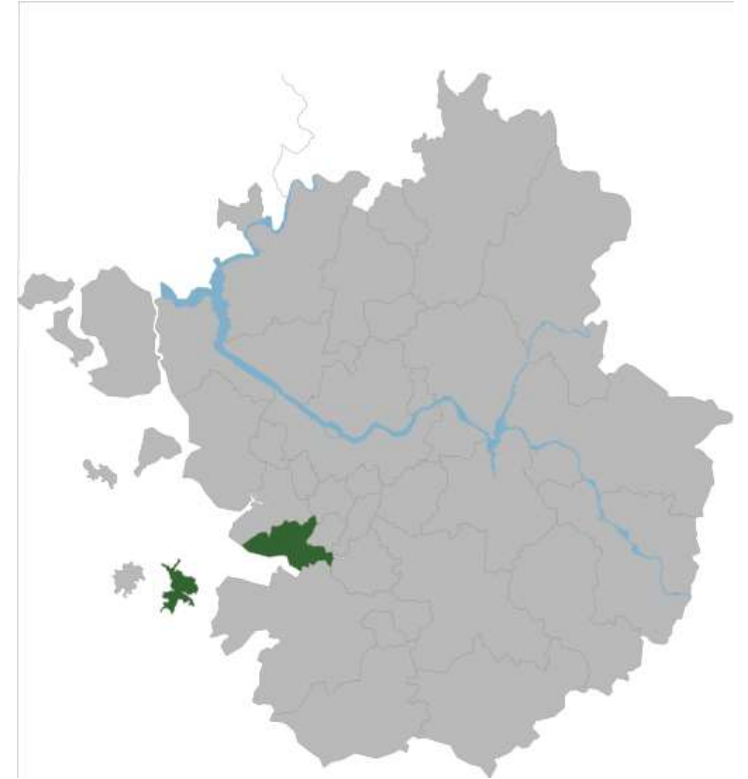
面積は、149.39km²

(2) 半月初等学校について

韓国安山市にある初等学校（日本の小学校にあたる）。

鳴浜小学校との国際交流事業が、平成27年度で25周年となった。

平成28年度は、26年目である。



半月初等学校の校舎（校庭から）

& 交流の記念品を展示してある部屋



4 国際交流25年の歩み

平成元年 1989年

- 6月11日 ・日韓交流打ち合わせのため、韓国半月国民学校訪問（中村校長、石田PTA会長他）
- 7月19日 ・鳴浜小学校が、日韓農村友情文化交流の会場になり、仮面劇「タルチュム」の公演が行われる。



・10月 ・農村友情文化交流を通じて、通訳として活躍された**土屋春美先生**を講師とし、5. 6年生の週1回ハングル学習が始まる。

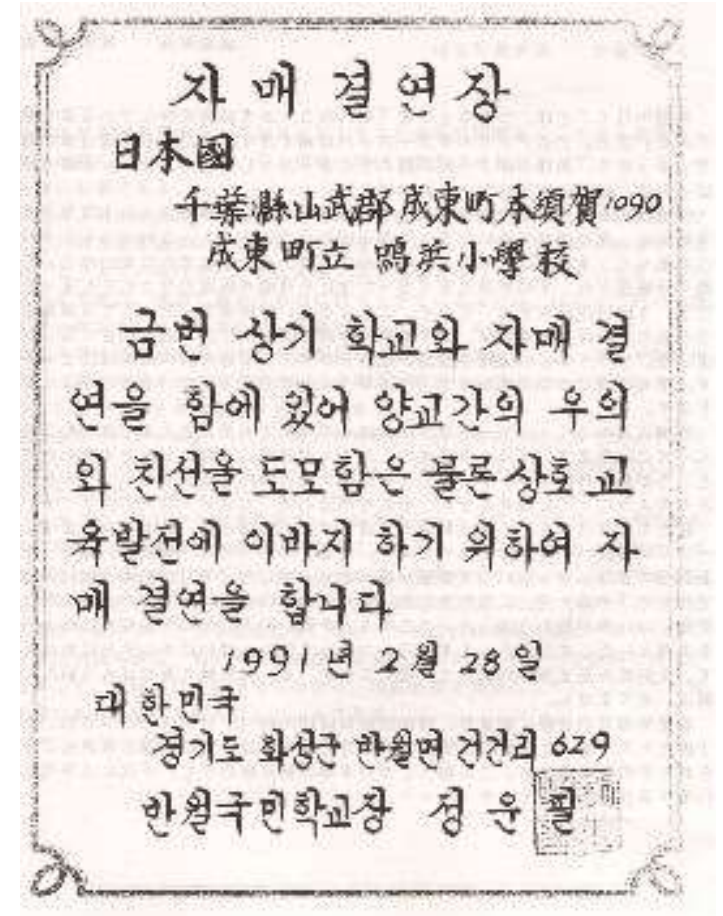
・子どもたちの作品交換、校長間の通信が始まり、**姉妹校交流委員会準備室**発足。

平成3年 1991年

・3月9日 ・鳴浜小学校を会場に、**姉妹校結縁文書の交換式**が行われ、記念植樹をする。



韓国から、李健雨半月国民学校
同窓会長他10名が来日。



- 5月30日 ・韓国半月面国民学校訪問、結縁式が行われる。(村井校長、今関PTA会長、稗田前会長他出席)



韓国代表団日本訪問(PTA会長以下20名)

平成4年 1992年

- 8月22日～24日 ・韓国訪問22名(村井校長、石橋PTA会長、PTA役員、町議員)



平成5年 1993年

- 8月21日～24日 ・韓国代表団日本訪問(半月国民学校長、町議員、教員、PTA役員、児童代表)



平成6年 1994年

- 8月9日～11日 ・韓国訪問37名(町長、町議員、行木校長、岩澤PTA会長、PTA役員、児童14名)



平成7年 1995年

- ・8月18日～22日 ・韓国代表団日本訪問(韓国国民学校現及び前校長、信協理事長、PTA会長、教員、児童11名の計30名)



- ・18日、羽田空港より深夜到着。ホームステイ先へ。
- ・19日、歓迎式後、本校プールで水泳。夜、ニュー太洋にて交流会。
- ・20日、佐倉歴史民俗資料館と葛西臨海水族館の見学、ホテル泊。
- ・21日、東京見学
- ・22日朝、羽田空港より帰国

平成8年 1996年

- ・8月3日～5日 ・韓国訪問(町長、町議員、藍校長、石毛PTA会長、PTA役員、児童15名の計43名)



- ・3日午後、安山市議会訪問。半月初等学校にて歓迎式後、ホームステイ先。
- ・4日、韓国民俗村見学。夕方、ソウルのホテルにて、交流会後ホテル泊。
- ・5日、半月初等学校で交流会。午後帰国。

※以後、原則として両校が交互に、訪問しあってきた。

その間、年1回の児童交流だけでなく、通年で児童の作品交流を行ってきた。両校の交流委員(運営委員)も交流を継続させてきた。

平成9年度～平成14年度の交流

平成9年度	児童訪日
平成10年度	児童訪韓
平成11年度	児童訪日
平成12年度	児童訪韓
平成13年度	児童訪日
平成14年度	児童訪韓



平成9年度(スポーツ交流)



平成13年度(茶道体験)



平成10年度



平成14年度

平成15年度～21年度の交流

平成15年度 児童交流中止(SARS)

平成16年度 児童訪日

平成17年度 児童交流中止(竹島・教科書問題)

平成18年度 児童訪韓

平成19年度 児童訪日

平成20年度 児童訪韓

平成21年度 児童訪日



平成16年度



平成19年度(歓迎集会と地引網体験)



平成21年度(歓迎集会と太巻き寿司体験)

平成22年度～26年度の交流

平成22年度 児童訪韓 平成23年度 児童交流中止(震災) 平成24年度 児童訪日



平成25年度 児童訪韓

平成26年度 韓国へ慰霊訪問(セウォール号海難事故)



平成27年度の交流

- ・6月に韓国半月初等学校が日本に訪問する予定だったが、MERSコロナウィルスの感染拡大の影響により、児童交流が中止になった。
- ・11月に、平成28年度の交流に向けて、韓国を訪問。



- ・本校から記念盾を贈呈した。
- ・平成28年度の交流について協議した。
- ・その後、半月初等学校より、「日本から贈られた児童作品をみんなで見ました。」という内容でメールが届いた。



平成28年度の交流

・5月に、PTA交流委員が韓国を訪問。



・11月3日(木)～5日(土)に児童・保護者・職員が韓国を訪問する予定。

日常の学校生活における国際交流

- ・朝や昼の放送で、韓国の歌を紹介している。韓国語の挨拶も。
- ・毎週金曜日には、韓国語講師(土屋春美先生・中島善花先生)に来てもらい、韓国語を学習している。



5 国際交流の意義

- (1) 相手の国の文化や習慣を理解し、尊重する心を育てる。
- (2) 自国の文化や習慣を見直すことで、誇りを持ち、改めて自国を愛する心を育てる。
- (3) 恒久の平和を願い、ともに発展しようという国際人の育成を図る。

◎グローバル化が進む中、本校の国際交流は、児童にとって、日韓両国の互いの文化を理解し尊重しあう貴重な機会となっている。

6 PTAの役割

(1)PTAの組織

- ・PTA交流部→各学年から交流委員1名を選出
本部から交流委員長を選出
- ・PTA交流委員会を組織

(2)PTAの役割

- ・年1回の児童交流
- ・年2回程度の交流委員(運営委員)の交流
- ・交流委員会議の開催

7 これからの交流について

(1) 予算や児童数が減少している。

→交流のあり方を考える。

(2) 児童交流の人数が限られている。

→日常的な交流活動を企画する。

◎本校の国際交流は、歴代のPTAや地域の方々の努力によって培われてきた意義ある事業である。これからも交流を継続させるためにも、両校が協議を行い、お互いに無理のない範囲で、交流の新たな形を模索したい。